



# GHG 排出量 第三者検証状況報告書

ワタミ株式会社 様

ソコテック・サーティフィケーション・ジャパン株式会社

〒100-0004 東京都千代田区大手町1丁目7番2号

東京サンケイビル 15F

電話: (03) 3516-2411 [www.socotec-certification-international.jp/](http://www.socotec-certification-international.jp/)



# GHG 排出量第三者検証状況報告書

顧客番号 : GV018-02

顧客名 : ワタミ株式会社

所在地 : 東京都大田区羽田一丁目1番3号

検証チームリーダー : 福島 眞英      SOCOTEC 認定 主任 GHG 検証人

検証チームメンバー : 竹田 弘樹      SOCOTEC 認定 GHG 検証人補

発行日 : 2023 年 3 月 30 日



## I 検証の目的

ワタミ株式会社が算定した「GHG 排出量算定報告書(2021 年度)」(以下、「算定報告書」という。)が、同社において策定している「GHG 排出量算定手順書(Ver.1.1)」(以下、「同社算定手順」という。)に準拠し、正確に測定、算定されていることについて客観的に評価を行い、その記載の信頼性をより高めることを目的とした。

本検証業務の保証水準は「限定的保証水準」、重要性の量的判断基準値は、総排出量における 5%とした。

## II 検証の対象

### 1.対象組織

ワタミ株式会社の会計上の連結対象子会社を連結したワタミグループを検証対象とした。

### 2.対象期間

2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日

### 3.対象項目

事業活動により発生するエネルギー起源の温室効果ガス(GHG)排出量(スコープ 1、スコープ 2)

## III 実施した検証の概要

### 1.検証チーム

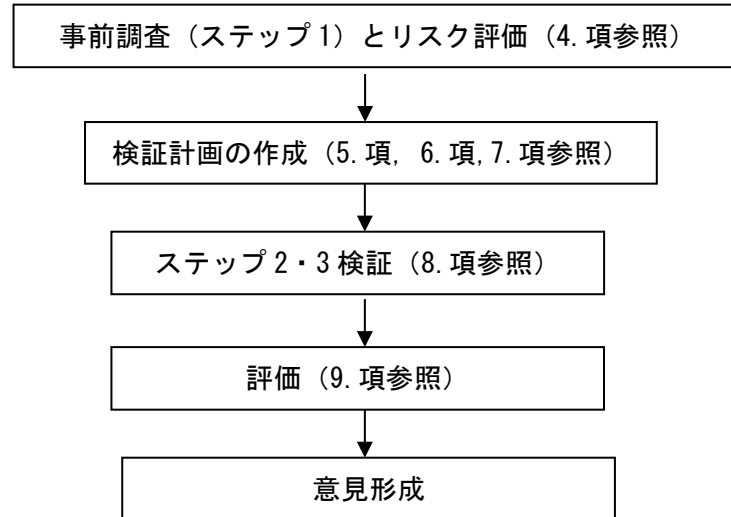
検証チームリーダー	福島 眞英	SOCOTEC 認定 主任GHG検証人
検証チームメンバー	竹田 弘樹	SOCOTEC 認定 GHG検証人補

本業務に必要な専門性は、電気、気体燃料・液体燃料である。これに対して、チームリーダー福島 眞英は SOCOTEC 認定主任 GHG 検証人であり、SOCOTEC での専門性評価基準に従って電気、気体燃料・液体燃料の専門性が付与されているため、検証チームとして専門性を満たしている。

### 2.検証の基準(判断基準及び実施基準)

本検証業務の判断基準は「同社算定手順」であり、実施基準は「ISO14064-3」である。なお、今後の「同社算定手順」の改善を検討する観点から、「ISO14064-1」も参考とした。

### 3. 検証プロセス



#### 4. 事前調査(ステップ 1)と検証アプローチ

検証リスクを合理的に低い水準に抑えるため、必要な資料等を入手し、誤りが含まれるリスクを評価し、対応手続きを決定し、検証計画へ反映させた。

#### 5. サンプルング計画

リスク評価結果を踏まえて、SOCOTEC Certification Japan 制定のサンプルング手順書に基づき、検証対象サイト及び検証時の対象帳票についてサンプルング計画を立案した。検証対象サイト数は同社の指定であった。

#### 6. 検証計画

ステップ 2 検証及びステップ 3 検証により、証拠収集及び検証テストを行った。

ステップ 2 検証では、事前に提示された同社 GHG 排出量情報についてレビューを行い、現地検証事項を整理した。対象としたグループ各社について、同社共通のGHG排出量算定手順に基づき一定の統制環境下で算定されているという結果を踏まえ、現地検証の実施サイトのサンプルングを行った。また、「同社算定手順」の詳細を確認するため、現地検証に先立って本社にて統轄機能に関する確認をオンサイトで実施した。

ステップ 3 検証では、ステップ 2 検証の結果に基づき、同社 GHG 排出量情報の適切性について、算定対象会社の内、サンプルングした 5 か所(ワタミ(株) 本社、ワタミ(株) 手づくり厨房 宇都宮センター、American Restaurant & Bar TGI フライデーズ 五反田店、ワタミ(株) 江戸川大杉営業所、有限会社ワタミファーム 倉淵農場)について現地検証を行った。現地検証では、算定対象範囲の確認、GHG 排出源及び GHG 排出量データモニタリングポイントの確認、算定集計体制の確認、排出量データについて担当者へのヒアリング、記録の確認、現地の確認、根拠資料との突き合わせを行った。



## 現地サイト訪問詳細

検証日	現地検証サイト名	住所
2023年1月11日	ワタミ株式会社 本社 (全体算定範囲、算定手順、内部統制／サイト算定体制、算定結果)	東京都大田区羽田一丁目1番3号
2023年1月18日	ワタミ株式会社 江戸川大杉営業所 (サイト算定体制、算定結果)	東京都江戸川区大杉5-11-8
2023年1月18日	ワタミ株式会社 American Restaurant & Bar TGI フライデーズ 五反田店 (サイト算定体制、算定結果)	東京都品川区西五反田1-28-2
2023年1月20日	有限会社ワタミファーム 倉淵農場 (サイト算定体制、算定結果)	群馬県高崎市倉淵町権田5450
2023年1月23日	ワタミ株式会社 手づくり厨房 宇都宮センター (サイト算定体制、算定結果)	栃木県栃木市西方町本城1062-34
2023年1月25日	ワタミ株式会社 本社 (全体算定結果)	東京都大田区羽田一丁目1番3号

### 7.検証記録

算定に使用した全ての記録が適切に管理・保存されているか確認した。

なお、SOCOTECでは、実施した検証手続きについては手順書を定めており、収集した証拠についても記録管理を行っている。

### 8.検証結果

検証は、GHG 排出量収集システム及びその統制、GHG 排出量及び情報、検証の基準に照らした評価並びに GHG 排出量に関する主張の4点について、ISO14064-1における5原則(適切性、完全性、一貫性、正確性、透明性)を考慮し評価を行った。

また、検証の結果発見された事項は以下の区分により指摘した。

#### CAR: 是正措置要求事項:

同社 GHG 排出量情報の記載事項及び集計・算定結果が「同社算定手順」に従っていない場合。

#### CL: 明確化要求事項:

同社 GHG 排出量情報の記載事項が、不明瞭又は不透明である場合。

また、「同社算定手順」の改善を検討する観点から参考とした「ISO14064-1」に関する事項についても該当する事項がある場合には別途コメントとして報告することとした。

検証において発見された事項は別添のとおり。

## 9.評価

### (1)指摘事項への対応

指摘事項のうち是正措置要求事項については、すべてワタミ株式会社により適切な対応が実施された。また、明確化要求事項については、すべてワタミ株式会社により対応方針が示された。

### (2)重要性の評価

#### ・ルールへの適合性評価

同社 GHG 排出量情報が「同社算定手順」に基づき作成されていない事象は確認されなかった。

#### ・量的評価

##### <計量器・方法の不確かさ>

GHG 排出量(スコープ 1、スコープ 2)算定に使用された活動量については、基本的には購買帳票を使用していた。

実測に用いた計量器は特定計量器を使用していたことを確認した。

また、単位発熱量及び排出係数については、日本の法令で定めるデフォルト値を使用していた。以上より、計量器・方法の不確かさが許容される範囲に含まれない事象は確認されなかった。

##### <可能性のある誤り>

活動量については、江戸川大杉営業所で発見された都市ガスと LPG の分類に係る誤りに基づき、検証した範囲において可能性のある誤りが重要性判断基準(GHG Scope1+2 総排出量 24,338 t-CO<sub>2</sub>(ロケーション基準)、24,307 t-CO<sub>2</sub>(マーケット基準)の 5%)未満でない事象は確認されなかった。

##### <未修正の誤り>

検証した範囲において、未修正の既知の誤りが重要性判断基準(GHG Scope1+2 総排出量 24,338t-CO<sub>2</sub>(ロケーション基準)、24,307 t-CO<sub>2</sub>(マーケット基準)の 5%)未満でない事象は確認されなかった。

以上の不確かさ及び誤りの評価結果より、重要性判断基準(GHG Scope1+2 総排出量 24,338 t-CO<sub>2</sub>(ロケーション基準)、24,307 t-CO<sub>2</sub>(マーケット基準)未満でない事象は確認されなかった。

### (3)検証業務に係る品質管理手続き

検証業務に係る品質管理手続きは下記のとおり適切に実施された。

実施日	実施者	手続き	結果概要
2023.1.6	野村 祐吾	テクニカルレビュー (1回目)	審査計画書がリスクアプローチ評価表等を用いて適切に作成されていることを確認した。
2023.3.27	野村 祐吾	テクニカルレビュー (2回目)	検証報告書類について指摘事項があったが、その修正を確認し、検証報告書類が適切に作成されていることを確認した。
2023.3.27	野村 祐吾	プロセスレビュー	検証が定められた手順に従って実施されたことを確認した。

#### (4)検証後に検出された事実

本報告書発行の日付以降に検証意見に対して重大な影響を与えかねない事実が発見された場合には、当該事実に適切に対応し、ワタミ株式会社へ報告できる体制を整備し、対策を講じることとしている。

## IV 結論

同社 GHG 排出量データ情報(GHG Scope1:6,962 t-CO<sub>2</sub>、GHG Scope2:17,376 t-CO<sub>2</sub>(ロケーション基準)、GHG Scope2:17,345 t-CO<sub>2</sub>(マーケット基準))に係る記載については、「同社算定手順」に準拠せず、正確に算定されていない事項は発見されなかった。

## V 留意事項

同社 GHG 排出量情報の算定責任はワタミ株式会社にあり、温室効果ガス(GHG)の排出量検証の責任は当社にある。ワタミ株式会社と当社との間には、特定の利害関係はない。

以 上



<別添> 発見された事項

区分

CAR: 是正措置要求事項 2件

C L: 明確化要求事項 8件

検証サイト	検証日	発見事項	
ワタミ株式会社 本社 (全体算定範囲、 算定手順、内部 統制)	1月11日	CL-1	<p>【算定報告書】</p> <p>「サプライチェーン排出量算定シート(2021年度)の「組織境界の設定」シートに算定対象とする組織範囲について記載されています。算定対象としている組織範囲には影響はありませんでしたが、根拠として添付されていた有価証券報告書の該当ページが最新のものではありませんでした。</p> <p>→修正</p>
ワタミ株式会社 江戸川大杉営業 所 (Scope1,2 排 出 量算定)	1月18日	CAR-1	<p>【燃料種別】</p> <p>「サプライチェーン排出量算定シート(2021年度)_ワタミ株式会社 御中_2200809_ワタミ(株) 第三者検証用 抜粋_rev1」の「Scope1_直接排出」シートでは宅食のエネルギー種は都市ガスと記載されていましたが、江戸川大杉営業所ではLPGを利用しているため実際の燃料種別と整合していませんでした。</p> <p>→宅食の全営業所で使用しているガスについて実態把握、対応は次年度以降 (可能性のある誤りは重要性の基準値未満であることを確認)</p>
		CL-2	<p>【電力平均単価】</p> <p>「【配信データ】販売食数・容器回収率・水光熱使用データ 2022年5月分+0704 現在_平均単価算出_220706」で平均単価を算出するにあたり、電気使用量、金額が記載されているにも関わらず平均単価の計算が行われていない拠点があることを確認しました。</p> <p>上記に該当する拠点を平均単価算出に含めていない理由をご説明ください。</p> <p>→平均単価見直し</p>
ワタミ株式会社 American Restaurant & Bar TGI フライデーズ 五反田店 (Scope1,2 排 出	1月18日	CL-3	<p>【都市ガス平均単価】</p> <p>「22.3 ワタミ様ガス使用量一覧+(TGI 合体)平均単価算出_220704」で都市ガスの平均単価を算出するにあたって、T.G.I フライデーズの店舗の単価が含まれていません。理由をご説明ください。</p> <p>→追記</p>



量算定)		CL-4	<p>【都市ガス平均単価】</p> <p>「21 年度_外食_【ガス】まとめ@220705」ファイルにおいて、ガス料金を平均単価で割って各拠点のガス使用量を算出していますが、上記ファイルで使用しているガス料金と、平均単価を算出している「22.3 ワタミ様ガス使用量一覧+(TGI 合体)平均単価算出_220704」で使用している各拠点のガス料金が整合していないようです。その理由をご説明ください。</p> <p>→税抜きガス料金で都市ガス使用量算定</p>
有限会社ワタミファーム 倉渕農場 (Scope1,2 排出量算定)	1 月 20 日	CAR-2	<p>【活動量】</p> <p>「2021・ISO 事前課題 WF@220707(まとめ).20230119 修正」で、倉渕農場のガソリン及び軽油の購入量を算定していますが、購買伝票の集計結果と整合していませんでした。</p> <p>→集計見直し</p>
		CL-5	<p>【算定対象】</p> <p>購買伝票及び現地目視により灯油の使用を確認しましたが、算定報告書の「【SC1】ファーム」シートでは、倉渕農場の灯油使用量について記載がありませんでした。</p> <p>→算定対象に追加</p>
		CL-6	<p>【算定手順】</p> <p>ファーム拠点では燃料使用量を請求書から把握していますが、「手順書別紙_ワタミ(株)_221125」の「Ⅲ.データ集計体制(スコープ1及び2)」シートで明確になっていませんでした。</p> <p>→手順修正</p>
ワタミ株式会社 手づくり厨房 宇都宮センター (Scope1,2 排出量算定)	1 月 23 日	CL-7	<p>【集計方法】</p> <p>「2021 年度+環境計画実績表(3 月末まとめ)0411」の年間集計値(47,590.90m3)と「宇都宮運転日報」の 2021 年 4 月 1 日～2022 年 4 月 1 日のメータ読み取り値の差分の合計値(47,590.77m3)が微妙に一致していません。</p> <p>排出量への影響は軽微ですが、原因をお知らせください。</p> <p>→集計方法明確化</p>
ワタミ株式会社 本社 (全体算定結果)	1 月 25 日	CL-8	<p>【再エネ】</p> <p>算定報告書「サプライチェーン排出量算定シート(2021 年度)_ワタミ株式会社御中_2200809_ワタミ(株)第三者検証用抜粋」の「Scope2_エネルギー起源の間接排出(マーケット)」シートでは、HD と MD 及び外食の一部の拠点で、ワタミエナジーから 2021 年 10 月から再エネ電力(調整後メニューA)を購入と記載されています。根拠資料(電力会社との契約書等)をご提示ください。</p> <p>→資料提示</p>